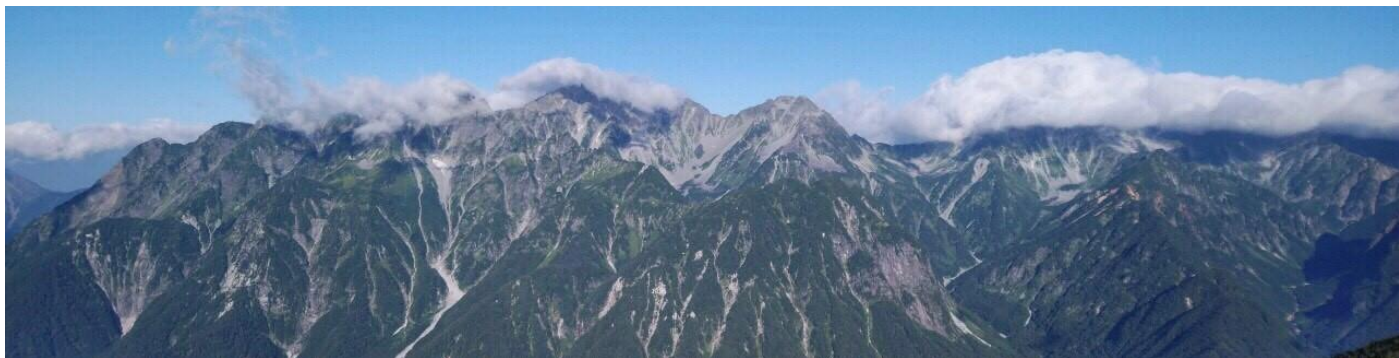




8月定例山行「蝶ヶ岳・常念岳山行報告」

- (山 域) 北アルプス
(コース) 三股～蝶ヶ岳(テン場泊)～常念岳～常念小屋(テン場泊)～前常念～三股
(日 時) 2019年8月24日(土)～26(月)
(天 候) 晴れ時々曇り
(参加者) 金(CL)、勝田(SL)、澤田淳(食事)、小川、下牧、夏見(会計)、高山、秋山(記録)
(行 程) 23日 22:00 千葉駅集合～24日 02:30 三股駐車場(仮眠)
1日目 06:00 三股林道ゲート～07:00 ゴジラみたいな木～08:30 まめうち平～09:30 蝶沢
～11:50 大滝山分岐～12:00 蝶ヶ岳テン場(泊)
2日目 07:00 蝶ヶ岳テン場～07:55 横尾分岐～08:15 蝶槍～09:35 2592 ピーク
～13:00 常念岳～13:20 前常念岳分岐～14:00 常念小屋テン場(泊)
3日目 07:00 常念小屋～08:10 前常念岳分岐～09:25 前常念岳～11:10 2207 標準点櫓跡
～13:30 三股登山口～13:50 駐車場

○その他情報

- (駐車場) 三股駐車場(林道ゲート前)約 70 台。トイレ有。05:00 頃には満車状態。
(温 泉) 「ほりでーゆー四季の郷」三股駐車場からの帰り道約 20 分。
大人 530 円。露天風呂、シャンプー、リンス、ボディーソープ有。

(山行報告)

山行の数日前、リーダーより天候の影響から当初計画していた一ノ沢入山～三股下山ルートを変更し、三股入山～一ノ沢下山 or 三股へ周回との連絡があった。その後台風も発生したが大陸へ向かう進路でありホッと胸をなで下ろした。

23日 22:00 頃千葉駅に集合し、初めまして！初めまして！の挨拶が飛び交う。今回の山行は新人を沢山受け入れて頂いておりお互い初見さんが多かった。

揃ったメンバーは2台に分かれて出発し、中央道で多少の混雑があったものの順調に進み安曇野 IC を降りてコンビニで再合流する。外へ出て上を見上げると星空が広がっており翌日の好天が期待できた。

行動食とビールを買い三股駐車場へと向かうと、途中ほりでーゆー前の路上で沢山の猿達がくつろいでいた。車が来ても慌てて逃げることもなく人間慣れしている様子だった。駐車場へ着くとスペースには余裕があり、ビールを1缶飲み緊張をほぐして仮眠を取った。

(1日目) 5時頃起床すると、駐車場は既に満車状態で、駐車場所を探しグルグルと回っている車がいた。天気は快晴だがまだひんやりとした空気で、朝食と準備を済ませ3日間の山行がスタートした。

ゲートをくぐり林道を歩き三股登山口を経て緩やかな道を歩いて行くとスタートから30分で吊り橋が現れた。本沢が増水して渡れない場合は橋の手前から迂回して前常念岳に登るようだが、この日は水量に問題なく

吊り橋を渡った。

ここから段々と斜度が出てきて吊り橋から約 10 分で水場の力水に着き、冷たくて柔らかい水を飲み更に登っていく。樹林帯の中も空気がひんやりとしていてとても 8 月とは思えない涼しさと歩き易かった。

スタートから 1 時間程でネットの記録で有名な「ゴジラみたいな木」に着く。身長程の枯れ木に、口にあたる箇所が石が詰められ牙様になっていて本当にゴジラに似ていた。しかし誰かが入れ歯のゴジラじゃ大した強くないなあなんて言ってるのを聞いて思わず笑ってしまった。

休憩を挟みながら、まめうち平、標高 2000m 標識を過ぎ蝶沢で休憩した。確か力水が最終水場となっていた筈だが、ここにも綺麗な水が流れていた。でも飲めるのかは良く分からないので顔だけ洗った。

この辺りからアキノキリンソウやトリカブト、ソバナ、ゴゼンタチバナ、ハクサンフウロなどを見ながら更に登って行った。涼しいと言っても慣れない重さのザックを背負っての登り、階段も多く汗が吹き出た。

急ぎの行程じゃないからとの優しいリーダーの声に甘えて、マメに休憩



を取りながら、第 2 ベンチ、最終ベンチを経て大滝山からの出合へ出てようやく樹林帯を抜けた。もう昼時で陽に当たるとやはり暑かった。

出合いから 10 分ほど上がると蝶ヶ岳ヒュッテが見えてきて、更に正面に槍がでーんと見えてきた。長い登りを終えたところにこのご褒美とは、いやはや蝶ヶ岳さまやりますね。疲れが吹っ飛びましたぞ。

テン場に着くとスペースに余裕があり尾根の影に 2 つ張った。

夕食準備までは自由時間とのことで、とりあえずテン場からすぐ裏に少し上がって頂上を踏む。振り返ると穂高連峰がパノラマに広がる。とても贅沢な景色でいつまで見ていても飽きないと思った。

蝶ヶ岳ヒュッテのランチ時間に間に合うとの事。有志で行き各々カレーうどん、おでん、フルーツポンチアイストッピングなどを頼み、そして…なんと…な、生ビール(800 円)があるではないですかー！？もちろん迷わずオーダーした。ゴクッゴクッ、うーんキンキンに冷えててウマーい♪

これがあるから辞められませんよね！？(笑)

他にもカップ麺や缶チューハイ。自販機にもビール(500ml800 円)などもあった。

テン場に戻ってもまだ時間は沢山あった。またテン場裏に上がり、穂高連峰を眺めながら早くも 2 次会のスタート。T さん、O さんが持ってきてくれたワインでまた乾杯し引き続き贅沢な時間を過ごした。

夕食の準備に入り、SJ さんが準備してくれた食材を女性陣が調理、炊飯は K さんが担当してくださり、皆で 2 拍してお願いをした。

初日の晩御飯はなんと「うな丼」だった。K さんが上手に炊いてくださったご飯を盛り、湯煎したうなぎパックからうなぎを乗せタレ、山椒を掛けてうな丼の完成。更に味噌汁、胡瓜の浅漬けも並ぶ。なんて贅沢な山メシ。みんな美味しい美味しいとご飯を口に運んだ。お腹を満たした後はこの日はそのまま就寝した。





(2日目) 早朝ポツポツと細かい雨の音で目覚め、今日は雨かぁーと思っていたが、起床する頃には雨が上がっていた。朝食は前日の味噌汁にご飯と餅を入れた餅入り雑炊で、今日のエネルギーを補充した。

朝食を済ませると濡れていたテントも乾き、皆で準備運動をして2日目をスタートする。この日の行程は常念岳へ登って奥の常念小屋テン場泊だ。

早朝の雨が嘘の様に晴れ上がり、穂高連峰やこれから向かう常念岳がキレイに見える。この景色を見ながらの稜線歩きは贅沢だなと思った。

ヒュッテから約1時間アップダウンが少なく蝶ヶに着いたが、ここから標高を下げられる。2592ピークの登り斜面に入ると花畑も見られた。

蝶ヶから約1時間半で2592ピークに着き更に1時間で2512ピークへ着いた。もう一度下りいよいよ常念岳への最後の登りとなった。常念岳への登りは岩場が多くて歩き辛くメンバーに遅れも出始めた。

ここまでマメに休憩を入れさせてくれていたリーダーであったが、常念小屋のランチ時間(14時迄)を考慮し、ランチ食べたい人も居るから頑張れ

ー！！と激が飛び、ようやく13時頃に常念岳へ辿り着いた。

狭い頂上には小さい祠と同定板があり、眺めは今日も最高！槍は昨日よりも近かった。それぞれ記念写真を取ってランチに向かって下山を開始した。しかし、ランチ時間に間に合うか怪しいとなりSJさんが小屋に頼んでおくよと先に降りてくださった。そのSJさんの下るスピードと言ったらみるみるうちに小さくなってしまった。しかし、小屋の時間は厳しく守られ結局ランチを獲得できたのはSJさんのみであった。

それでも焼き鳥や枝豆はオーダーすることが出来、後から着いたメンバーはそれらとビール等で乾杯した。喉を潤した後はテン場へ移動しテントを張った。九州から遠征してきた高校生達が10ヶ所程とその他一般の数組がテントを張っていたが、スペースは十分に開いており良い場所に張ることができた。すると早速SJさんが晩ご飯の下ごしらえを初め、神様Kさまがこの日も炊飯を担当してくださった。



円の真ん中に2つの鍋をかけて、早速2次会がスタートした。残っていたワインを開け、Oさんが生ハム、Tさんはオリーブを出して乾杯した。更に他にも皆が持ち寄ったお酒で酒宴は続き、そのうちに鍋が吹き出した。

夕食はちらし寿司と野菜スープで、今日もご飯は綺麗に炊きあがった。ありがたや。ありがたや。

そのまま晩ご飯へ突入し、連日の美味しい食事に感謝しながらペロリとたいらげた。

夕食後はテント毎に分かれ、飲み続ける者と眠る者と。上空には星が光り翌日も好天が望めた。



(3日目) この日も朝日が見られ晴天。朝日で照らされた槍ヶ岳が赤く映えていた。

朝食は野菜スープに餅を入れて力餅スープ。今日も元気が出そうだ。皆で朝食、準備運動、撒収を済ませてスタートした。

最終日は常念岳の8合目まで登り返して、前常念岳から三股へ帰るコースで、ガイドには上級者向けとあった。

8合目近くに上がるとなんと猿の群れが居た！？こんな所まで猿が上がって来るのかと驚いていたら、サルが雷鳥を食べていて以前問題になっていたと聞いた。

そういえばこの山行中雷鳥を見ることが出来なかった。ん〜コイツらが原因だったのか???なんてことするんだコノヤローと思ったが、猿が上に上がっ



て来ざるを得ない原因もあるのだろうと思った。

槍ヶ岳を見納めて8合目分岐から前常念岳へ向かうと、途中チングルマの綿毛やシラタマノキなどが見られ、途中標識があり、旧地図にはあった常念小屋への道が土砂崩れにより廃道になっていると書いてあった。もう少し下り8合目分岐から1時間程で前常念岳に着いた。前常念岳までずっと下りでどこがピークが分からなかったが標識とその下に三角点があり、少し下りると石室の避難小屋もあった。

その先は大きい岩場が多く歩き辛い道が続き、1時間くらい歩いて梯子を降り樹林帯に入った。その後も順調に高度を落として、三股、駐車場へと戻って来た。

下山後は帰り道のほりでゆー四季の郷で汗を流し、そのまま食事と思ったがここでもまた営業時間の壁にぶち当たってしまった。仕方が無いので街で食べようと調べて行った先も残念ながら準備中で、結局梓川SAで食べその後無

事帰葉した。

今回の山行は3日間ずっと晴天で、天気とメンバーに恵まれた楽しい山行でした。筆者は初のテン泊山行でしたが、他のメンバーに色々なことを教えて貰いとてもためになり、また3日間歩いて自信も付けさせて貰いました。

そして山の上でゆーっくりのんびり過ごすというのが初めてだったので、とても贅沢な時間を過ごさせて頂きました。

今回、新人向けに当山行を企画実行して頂いたCLにはとても感謝しております。またこの様な山行があれば是非参加したいと思っています。

また山行前から食事の準備をして頂いたSJさん美味しい山ご飯をありがとうございました！（鰻美味しかったな〜）

そして一緒に行動をしてくださった皆さんどうもありがとうございました。また山でお会いしましょう♪

記録:秋山

